

# 西部環境センター維持管理記録書(平成31年4月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	2,241
		2号炉	2,846
		3号炉	2,538

データ 項目	測定位置		結果報告 (稼働時常時測定)	測定値 (月平均値)	維持管理 基準値
燃焼ガス温度 <sup>※1</sup> (°C)	燃焼室 出口	1号炉	4月30日	1,001	800 以上
		2号炉	4月30日	960	
		3号炉	4月30日	982	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度 <sup>※1</sup> (°C)	集じん器 入口	1号炉	4月30日	182	概ね 200 以下
		2号炉	4月30日	180	
		3号炉	4月30日	180	
排ガス中の一酸化炭素濃度 <sup>※1</sup> (ppm)	集じん器 出口	1号炉	4月30日	15	100 以下
		2号炉	4月30日	20	
		3号炉	4月30日	28	

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん <sup>※2</sup> の除去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰  
排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値
ダイオキシン類 <sup>※3</sup>	1回/年	煙突 (サンプリング口)	1号炉	/	ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	0.1 ng-TEQ/m <sup>3</sup> N
			2号炉	/	ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	
			3号炉	/	ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	

※3 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度<sup>※4※5</sup>

データ 項目	測定回数	採取した位置		採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	1号炉	4月23日	5月20日	0.045 m <sup>3</sup> N/h	37.34 m <sup>3</sup> N/h
	1.8 ppm						
ばいじん	1回/2月					<0.001 g/m <sup>3</sup> N	0.04 g/m <sup>3</sup> N
塩化水素	1回/2月					6.6 mg/m <sup>3</sup> N	200 mg/m <sup>3</sup> N
	4.0 ppm						
窒素酸化物	1回/2月	67 ppm	180 ppm				
全水銀	1回/4月				4.7 µg/m <sup>3</sup>	50 µg/m <sup>3</sup>	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	2号炉	4月16日	5月20日	0.017 m <sup>3</sup> N/h	37.16 m <sup>3</sup> N/h
	0.7 ppm						
ばいじん	1回/2月					<0.001 g/m <sup>3</sup> N	0.04 g/m <sup>3</sup> N
塩化水素	1回/2月					2.3 mg/m <sup>3</sup> N	200 mg/m <sup>3</sup> N
	1.4 ppm						
窒素酸化物	1回/2月	34 ppm	180 ppm				
全水銀	1回/4月				33 µg/m <sup>3</sup>	50 µg/m <sup>3</sup>	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	3号炉	4月12日	5月20日	0.021 m <sup>3</sup> N/h	36.04 m <sup>3</sup> N/h
	0.9 ppm						
ばいじん	1回/2月					<0.001 g/m <sup>3</sup> N	0.04 g/m <sup>3</sup> N
塩化水素	1回/2月					2.3 mg/m <sup>3</sup> N	200 mg/m <sup>3</sup> N
	1.4 ppm						
窒素酸化物	1回/2月	62 ppm	180 ppm				
全水銀	1回/4月				16 µg/m <sup>3</sup>	50 µg/m <sup>3</sup>	

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

# 西部環境センター維持管理記録書(令和元年5月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	2,968
		2号炉	2,419
		3号炉	2,669

データ 項目	測定位置		結果報告 (稼働時常時測定)	測定値 (月平均値)	維持管理 基準値
燃焼ガス温度 <sup>※1</sup> (°C)	燃焼室 出口	1号炉	5月31日	989	800 以上
		2号炉	5月31日	958	
		3号炉	5月31日	959	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度 <sup>※1</sup> (°C)	集じん器 入口	1号炉	5月31日	182	概ね 200 以下
		2号炉	5月31日	181	
		3号炉	5月31日	180	
排ガス中の一酸化炭素濃度 <sup>※1</sup> (ppm)	集じん器 出口	1号炉	5月31日	20	100 以下
		2号炉	5月31日	18	
		3号炉	5月31日	22	

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備、排ガス処理設備にたい積したばいじん <sup>※2</sup> の除去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰  
排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値
ダイオキシン類 <sup>※3</sup>	2回/年	煙突 (サンプリング口)	1号炉	/	ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	0.1 ng-TEQ/m <sup>3</sup> N
			2号炉	/	ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	
			3号炉	/	ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	

※3 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度<sup>※4※5</sup>

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	1号炉	5月24日	6月21日	0.14 m <sup>3</sup> N/h	37.42 m <sup>3</sup> N/h
	5.7 ppm						
ばいじん	1回/2月					<0.001 g/m <sup>3</sup> N	0.04 g/m <sup>3</sup> N
塩化水素	1回/2月					4.7 mg/m <sup>3</sup> N	200 mg/m <sup>3</sup> N
窒素酸化物	1回/2月					2.8 ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月				51 ppm	180 ppm	
全水銀	1回/4月				μg/m <sup>3</sup>	50 μg/m <sup>3</sup>	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	2号炉	/	/	m <sup>3</sup> N/h	m <sup>3</sup> N/h
	ppm						
ばいじん	1回/2月					g/m <sup>3</sup> N	0.04 g/m <sup>3</sup> N
塩化水素	1回/2月					mg/m <sup>3</sup> N	200 mg/m <sup>3</sup> N
窒素酸化物	1回/2月					ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月				μg/m <sup>3</sup>	50 μg/m <sup>3</sup>	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	3号炉	/	/	m <sup>3</sup> N/h	m <sup>3</sup> N/h
	ppm						
ばいじん	1回/2月					g/m <sup>3</sup> N	0.04 g/m <sup>3</sup> N
塩化水素	1回/2月					mg/m <sup>3</sup> N	200 mg/m <sup>3</sup> N
窒素酸化物	1回/2月					ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月				μg/m <sup>3</sup>	50 μg/m <sup>3</sup>	

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

# 西部環境センター維持管理記録書(令和元年6月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	104
		2号炉	2,941
		3号炉	2,904

データ 項目	測定位置		結果報告 (稼働時常時測定)	測定値 (月平均値)	維持管理 基準値
燃焼ガス温度 <sup>※1</sup> (°C)	燃焼室 出口	1号炉	6月30日	1,000	800 以上
		2号炉	6月30日	942	
		3号炉	6月30日	956	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度 <sup>※1</sup> (°C)	集じん器 入口	1号炉	6月30日	190	概ね 200 以下
		2号炉	6月30日	181	
		3号炉	6月30日	181	
排ガス中の一酸化炭素濃度 <sup>※1</sup> (ppm)	集じん器 出口	1号炉	6月30日	17	100 以下
		2号炉	6月30日	16	
		3号炉	6月30日	19	

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備、排ガス処理設備にたい積したばいじん <sup>※2</sup> の除去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰  
排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値
ダイオキシン類 <sup>※3</sup>	2回/年	煙突 (サンプリング口)	1号炉	/	ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	0.1 ng-TEQ/m <sup>3</sup> N
			2号炉	/	ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	
			3号炉	/	ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	

※3 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度<sup>※4※5</sup>

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	1号炉	/	m <sup>3</sup> N/h	m <sup>3</sup> N/h	
ばいじん	1回/2月				ppm		
塩化水素	1回/2月				g/m <sup>3</sup> N		
窒素酸化物	1回/2月				mg/m <sup>3</sup> N		
全水銀	1回/4月				ppm		
全水銀	1回/4月				ppm	180 ppm	
全水銀	1回/4月				μg/m <sup>3</sup>	50 μg/m <sup>3</sup>	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	2号炉	6月7日	7月10日	0.12 m <sup>3</sup> N/h	37.20 m <sup>3</sup> N/h
ばいじん	1回/2月					5.0 ppm	
塩化水素	1回/2月					<0.001 g/m <sup>3</sup> N	
窒素酸化物	1回/2月					4.7 mg/m <sup>3</sup> N	
全水銀	1回/4月					2.9 ppm	
全水銀	1回/4月				ppm	180 ppm	
全水銀	1回/4月				μg/m <sup>3</sup>	50 μg/m <sup>3</sup>	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	3号炉	6月14日	7月10日	0.10 m <sup>3</sup> N/h	36.49 m <sup>3</sup> N/h
ばいじん	1回/2月					4.7 ppm	
塩化水素	1回/2月					<0.001 g/m <sup>3</sup> N	
窒素酸化物	1回/2月					4.8 mg/m <sup>3</sup> N	
全水銀	1回/4月					2.9 ppm	
全水銀	1回/4月				ppm	180 ppm	
全水銀	1回/4月				μg/m <sup>3</sup>	50 μg/m <sup>3</sup>	

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

# 西部環境センター維持管理記録書(令和元年7月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	—
		2号炉	3,067
3号炉		3,041	

データ 項目	測定位置		結果報告 (稼働時常時測定)	測定値 (月平均値)	維持管理 基準値
燃焼ガス温度 <sup>※1</sup> (°C)	燃焼室 出口	1号炉	休炉	—	800 以上
		2号炉	7月31日	932	
		3号炉	7月31日	950	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度 <sup>※1</sup> (°C)	集じん器 入口	1号炉	休炉	—	概ね 200 以下
		2号炉	7月31日	182	
		3号炉	7月31日	182	
排ガス中の一酸化炭素濃度 <sup>※1</sup> (ppm)	集じん器 出口	1号炉	休炉	—	100 以下
		2号炉	7月31日	21	
		3号炉	7月31日	19	

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん <sup>※2</sup> の除去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	休炉
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス処理設備	1号炉	休炉
		2号炉	稼働時常時機械除去
3号炉		稼働時常時機械除去	

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰  
排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値	
ダイオキシン類 <sup>※3</sup>	2回/年	煙突 (サンプリング口)	1号炉	—	—	ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	0.1 ng-TEQ/m <sup>3</sup> N
			2号炉	7月5日	7月29日	0.0027 ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	
			3号炉	7月12日	8月7日	0.00067 ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	

※3 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度<sup>※4※5</sup>

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	1号炉	—	m <sup>3</sup> N/h	m <sup>3</sup> N/h	
	ppm						
ばいじん	1回/2月				g/m <sup>3</sup> N		0.04 g/m <sup>3</sup> N
塩化水素	1回/2月				mg/m <sup>3</sup> N		200 mg/m <sup>3</sup> N
	ppm				180 ppm		
窒素酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	2号炉	—	ppm	180 ppm	
全水銀	1回/4月				μg/m <sup>3</sup>	50 μg/m <sup>3</sup>	
硫黄酸化物	1回/2月				m <sup>3</sup> N/h	m <sup>3</sup> N/h	
	ppm				ppm	ppm	
ばいじん	1回/2月				g/m <sup>3</sup> N	0.04 g/m <sup>3</sup> N	
塩化水素	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	3号炉	—	mg/m <sup>3</sup> N	200 mg/m <sup>3</sup> N	
	ppm				180 ppm		
窒素酸化物	1回/2月				ppm	180 ppm	
全水銀	1回/4月				μg/m <sup>3</sup>	50 μg/m <sup>3</sup>	
硫黄酸化物	1回/2月				m <sup>3</sup> N/h	m <sup>3</sup> N/h	
	ppm	ppm	ppm				
ばいじん	1回/2月	g/m <sup>3</sup> N	0.04 g/m <sup>3</sup> N				
塩化水素	1回/2月	mg/m <sup>3</sup> N	200 mg/m <sup>3</sup> N				
	ppm	180 ppm					
窒素酸化物	1回/2月	ppm	180 ppm				
全水銀	1回/4月	μg/m <sup>3</sup>	50 μg/m <sup>3</sup>				

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

# 西部環境センター維持管理記録書(令和元年8月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	2,494
		2号炉	3,062
		3号炉	2,547

データ 項目	測定位置		結果報告 (稼働時常時測定)	測定値 (月平均値)	維持管理 基準値
燃焼ガス温度 <sup>※1</sup> (°C)	燃焼室 出口	1号炉	8月31日	955	800 以上
		2号炉	8月31日	939	
		3号炉	8月31日	940	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度 <sup>※1</sup> (°C)	集じん器 入口	1号炉	8月31日	177	概ね 200 以下
		2号炉	8月31日	183	
		3号炉	8月31日	184	
排ガス中の一酸化炭素濃度 <sup>※1</sup> (ppm)	集じん器 出口	1号炉	8月31日	34	100 以下
		2号炉	8月31日	20	
		3号炉	8月31日	18	

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備、排ガス処理設備にたい積したばいじん <sup>※2</sup> の除去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰  
排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値	
ダイオキシン類 <sup>※3</sup>	2回/年	煙突 (サンプリング口)	1号炉	8月23日	9月18日	0.015 ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	0.1 ng-TEQ/m <sup>3</sup> N
			2号炉	/	/	ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	
			3号炉	/	/	ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	

※3 標準状態(0°C, 1気圧)に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度<sup>※4※5</sup>

データ 項目	測定回数	採取した位置		採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	1号炉	8月20日	9月10日	0.029 m <sup>3</sup> N/h	36.82 m <sup>3</sup> N/h
	1.2 ppm						
ばいじん	1回/2月					<0.001 g/m <sup>3</sup> N	0.04 g/m <sup>3</sup> N
塩化水素	1回/2月					4.5 mg/m <sup>3</sup> N	200 mg/m <sup>3</sup> N
	2.7 ppm						
窒素酸化物	1回/2月				49 ppm	180 ppm	
全水銀	1回/4月				6.8 µg/m <sup>3</sup>	50 µg/m <sup>3</sup>	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	2号炉	8月2日	9月10日	0.089 m <sup>3</sup> N/h	37.52 m <sup>3</sup> N/h
	3.7 ppm						
ばいじん	1回/2月					<0.001 g/m <sup>3</sup> N	0.04 g/m <sup>3</sup> N
塩化水素	1回/2月					7.9 mg/m <sup>3</sup> N	200 mg/m <sup>3</sup> N
	4.9 ppm						
窒素酸化物	1回/2月				39 ppm	180 ppm	
全水銀	1回/4月				7.7 µg/m <sup>3</sup>	50 µg/m <sup>3</sup>	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	3号炉	8月9日	9月10日	0.020 m <sup>3</sup> N/h	37.16 m <sup>3</sup> N/h
	0.8 ppm						
ばいじん	1回/2月					<0.001 g/m <sup>3</sup> N	0.04 g/m <sup>3</sup> N
塩化水素	1回/2月					10 mg/m <sup>3</sup> N	200 mg/m <sup>3</sup> N
	6.4 ppm						
窒素酸化物	1回/2月				39 ppm	180 ppm	
全水銀	1回/4月				6.7 µg/m <sup>3</sup>	50 µg/m <sup>3</sup>	

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度(容積比)は各項目の測定結果の下段に記載しています。

# 西部環境センター維持管理記録書(令和元年9月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	2,864
		2号炉	2,067
		3号炉	2,920

データ 項目	測定位置	結果報告 (稼働時常時測定)	測定値 (月平均値)	維持管理 基準値
燃焼ガス温度 <sup>※1</sup> (°C)	燃焼室 出口	1号炉	9月30日 960	800 以上
		2号炉	9月30日 935	
		3号炉	9月30日 940	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度 <sup>※1</sup> (°C)	集じん器 入口	1号炉	9月30日 179	概ね 200 以下
		2号炉	9月30日 183	
		3号炉	9月30日 183	
排ガス中の一酸化炭素濃度 <sup>※1</sup> (ppm)	集じん器 出口	1号炉	9月30日 29	100 以下
		2号炉	9月30日 17	
		3号炉	9月30日 15	

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん <sup>※2</sup> の除去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰  
排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した 年月日	結果の得ら れた年月日	測定結果	法規制値
ダイオキシン類 <sup>※3</sup>	2回/年	煙突 (サンプリング口)	1号炉	/	ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	0.1 ng-TEQ/m <sup>3</sup> N
			2号炉	/	ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	
			3号炉	/	ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	

※3 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度<sup>※4※5</sup>

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した 年月日	結果の得ら れた年月日	測定結果	法・条例規制値		
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	1号炉	/	m <sup>3</sup> N/h	m <sup>3</sup> N/h		
ばいじん	1回/2月				ppm			
塩化水素	1回/2月				g/m <sup>3</sup> N		0.04 g/m <sup>3</sup> N	
窒素酸化物	1回/2月				mg/m <sup>3</sup> N		200 mg/m <sup>3</sup> N	
全水銀	1回/4月				ppm		180 ppm	
全水銀	1回/4月			μg/m <sup>3</sup>	50 μg/m <sup>3</sup>			
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	2号炉	9月3日	10月4日	0.039 m <sup>3</sup> N/h	37.21 m <sup>3</sup> N/h	
ばいじん	1回/2月					1.6 ppm		
塩化水素	1回/2月					<0.001 g/m <sup>3</sup> N		0.04 g/m <sup>3</sup> N
窒素酸化物	1回/2月					4.2 mg/m <sup>3</sup> N		200 mg/m <sup>3</sup> N
全水銀	1回/4月					2.6 ppm		180 ppm
全水銀	1回/4月			60 ppm	180 ppm			
全水銀	1回/4月			μg/m <sup>3</sup>	50 μg/m <sup>3</sup>			
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	3号炉	/	/	m <sup>3</sup> N/h	m <sup>3</sup> N/h	
ばいじん	1回/2月					ppm		
塩化水素	1回/2月					g/m <sup>3</sup> N		0.04 g/m <sup>3</sup> N
窒素酸化物	1回/2月					mg/m <sup>3</sup> N		200 mg/m <sup>3</sup> N
全水銀	1回/4月					ppm		180 ppm
全水銀	1回/4月			ppm	180 ppm			
全水銀	1回/4月			μg/m <sup>3</sup>	50 μg/m <sup>3</sup>			

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

# 西部環境センター維持管理記録書(令和元年10月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	2,974
2号炉		—	
3号炉		3,015	

データ 項目	測定位置		結果報告 (稼働時常時測定)	測定値 (月平均値)	維持管理 基準値
燃焼ガス温度 <sup>※1</sup> (°C)	燃焼室 出口	1号炉	10月31日	963	800 以上
		2号炉	10月31日	—	
		3号炉	10月31日	954	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度 <sup>※1</sup> (°C)	集じん器 入口	1号炉	10月31日	180	概ね 200 以下
		2号炉	10月31日	—	
		3号炉	10月31日	185	
排ガス中の一酸化炭素濃度 <sup>※1</sup> (ppm)	集じん器 出口	1号炉	10月31日	20	100 以下
		2号炉	10月31日	—	
		3号炉	10月31日	10	

※1 燃焼排ガス中のダイオキシソ類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん <sup>※2</sup> の除去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
2号炉		休炉	
3号炉		稼働時常時機械除去	
排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去	
	2号炉	休炉	
	3号炉	稼働時常時機械除去	

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰  
排ガス中のダイオキシソ類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値
ダイオキシソ類 <sup>※3</sup>	2回/年	煙突 (サンプリング口)	1号炉	/	ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	0.1 ng-TEQ/m <sup>3</sup> N
			2号炉	/	ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	
			3号炉	/	ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	

※3 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシソ類の量

排ガス中のばい煙濃度<sup>※4※5</sup>

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	1号炉	10月4日	10月24日	0.026 m <sup>3</sup> N/h	37.20 m <sup>3</sup> N/h
	1.0 ppm						
ばいじん	1回/2月					<0.001 g/m <sup>3</sup> N	0.04 g/m <sup>3</sup> N
塩化水素	1回/2月					2.1 mg/m <sup>3</sup> N	200 mg/m <sup>3</sup> N
	1.3 ppm						
窒素酸化物	1回/2月		50 ppm	180 ppm			
全水銀	1回/4月			μg/m <sup>3</sup>	50 μg/m <sup>3</sup>		
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	2号炉	/	/	m <sup>3</sup> N/h	m <sup>3</sup> N/h
	ppm						
ばいじん	1回/2月					g/m <sup>3</sup> N	0.04 g/m <sup>3</sup> N
塩化水素	1回/2月					mg/m <sup>3</sup> N	200 mg/m <sup>3</sup> N
	ppm						
窒素酸化物	1回/2月		ppm	180 ppm			
全水銀	1回/4月			μg/m <sup>3</sup>	50 μg/m <sup>3</sup>		
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	3号炉	10月18日	11月25日	0.010 m <sup>3</sup> N/h	36.53 m <sup>3</sup> N/h
	0.4 ppm						
ばいじん	1回/2月					<0.001 g/m <sup>3</sup> N	0.04 g/m <sup>3</sup> N
塩化水素	1回/2月					<0.13 mg/m <sup>3</sup> N	200 mg/m <sup>3</sup> N
	<0.1 ppm						
窒素酸化物	1回/2月		10 ppm	180 ppm			
全水銀	1回/4月			μg/m <sup>3</sup>	50 μg/m <sup>3</sup>		

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度(容積比)は各項目の測定結果の下段に記載しています。

# 西部環境センター維持管理記録書(令和元年11月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	2,953
		2号炉	674
		3号炉	2,979

データ 項目	測定位置		結果報告 (稼働時常時測定)	測定値 (月平均値)	維持管理 基準値
燃焼ガス温度 <sup>※1</sup> (°C)	燃焼室 出口	1号炉	11月30日	972	800 以上
		2号炉	11月30日	957	
		3号炉	11月30日	967	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度 <sup>※1</sup> (°C)	集じん器 入口	1号炉	11月30日	183	概ね 200 以下
		2号炉	11月30日	176	
		3号炉	11月30日	187	
排ガス中の一酸化炭素濃度 <sup>※1</sup> (ppm)	集じん器 出口	1号炉	11月30日	17	100 以下
		2号炉	11月30日	30	
		3号炉	11月30日	8	

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備、排ガス処理設備にたい積したばいじん <sup>※2</sup> の除去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日	
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去	
		2号炉	稼働時常時機械除去	
		3号炉	稼働時常時機械除去	
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去	
		2号炉	稼働時常時機械除去	
		3号炉	稼働時常時機械除去	

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰  
排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値	
ダイオキシン類 <sup>※3</sup>	2回/年	煙突 (サンプリング口)	1号炉	11月8日	12月3日	0.0044 ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	0.1 ng-TEQ/m <sup>3</sup> N
			2号炉	/	/	ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	
			3号炉	11月29日	12月17日	0.0065 ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	

※3 標準状態(0°C, 1気圧)に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度<sup>※4※5</sup>

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	1号炉	/	m <sup>3</sup> N/h	m <sup>3</sup> N/h	
					ppm		
ばいじん	1回/2月				g/m <sup>3</sup> N		0.04 g/m <sup>3</sup> N
塩化水素	1回/2月				mg/m <sup>3</sup> N		200 mg/m <sup>3</sup> N
					ppm		
窒素酸化物	1回/2月				ppm		180 ppm
全水銀	1回/4月			μg/m <sup>3</sup>	50 μg/m <sup>3</sup>		
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	2号炉	/	m <sup>3</sup> N/h	m <sup>3</sup> N/h	
					ppm		
ばいじん	1回/2月				g/m <sup>3</sup> N		0.04 g/m <sup>3</sup> N
塩化水素	1回/2月				mg/m <sup>3</sup> N		200 mg/m <sup>3</sup> N
					ppm		
窒素酸化物	1回/2月				ppm		180 ppm
全水銀	1回/4月			μg/m <sup>3</sup>	50 μg/m <sup>3</sup>		
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	3号炉	/	m <sup>3</sup> N/h	m <sup>3</sup> N/h	
					ppm		
ばいじん	1回/2月				g/m <sup>3</sup> N		0.04 g/m <sup>3</sup> N
塩化水素	1回/2月				mg/m <sup>3</sup> N		200 mg/m <sup>3</sup> N
					ppm		
窒素酸化物	1回/2月				ppm		180 ppm
全水銀	1回/4月			μg/m <sup>3</sup>	50 μg/m <sup>3</sup>		

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度(容積比)は各項目の測定結果の下段に記載しています。

# 西部環境センター維持管理記録書(令和元年12月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	2,618
		2号炉	3,070
		3号炉	2,892

データ 項目	測定位置		結果報告 (稼働時常時測定)	測定値 (月平均値)	維持管理 基準値
燃焼ガス温度 <sup>※1</sup> (°C)	燃焼室 出口	1号炉	12月31日	964	800 以上
		2号炉	12月31日	965	
		3号炉	12月31日	982	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度 <sup>※1</sup> (°C)	集じん器 入口	1号炉	12月31日	185	概ね 200 以下
		2号炉	12月31日	178	
		3号炉	12月31日	190	
排ガス中の一酸化炭素濃度 <sup>※1</sup> (ppm)	集じん器 出口	1号炉	12月31日	17	100 以下
		2号炉	12月31日	31	
		3号炉	12月31日	9	

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん <sup>※2</sup> の除去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰  
排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値	
ダイオキシン類 <sup>※3</sup>	2回/年	煙突 (サンプリング口)	1号炉	12月13日	1月15日	ng-TEQ/m <sup>3</sup> N 0.014 ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	0.1 ng-TEQ/m <sup>3</sup> N
			2号炉			ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	
			3号炉			ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	

※3 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度<sup>※4※5</sup>

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	1号炉	12月3日	1月28日	0.042 m <sup>3</sup> N/h 1.6 ppm	37.74 m <sup>3</sup> N/h
ばいじん	1回/2月					<0.001 g/m <sup>3</sup> N	0.04 g/m <sup>3</sup> N
塩化水素	1回/2月					8.4 mg/m <sup>3</sup> N 5.1 ppm	200 mg/m <sup>3</sup> N
窒素酸化物	1回/2月					65 ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月					17 µg/m <sup>3</sup>	50 µg/m <sup>3</sup>
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	2号炉	12月10日	1月28日	0.036 m <sup>3</sup> N/h 1.4 ppm	37.00 m <sup>3</sup> N/h
ばいじん	1回/2月					<0.001 g/m <sup>3</sup> N	0.04 g/m <sup>3</sup> N
塩化水素	1回/2月					3.8 mg/m <sup>3</sup> N 2.3 ppm	200 mg/m <sup>3</sup> N
窒素酸化物	1回/2月					58 ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月					4.4 µg/m <sup>3</sup>	50 µg/m <sup>3</sup>
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	3号炉	12月24日	1月28日	0.15 m <sup>3</sup> N/h 5.1 ppm	38.05 m <sup>3</sup> N/h
ばいじん	1回/2月					<0.001 g/m <sup>3</sup> N	0.04 g/m <sup>3</sup> N
塩化水素	1回/2月					6.4 mg/m <sup>3</sup> N 3.9 ppm	200 mg/m <sup>3</sup> N
窒素酸化物	1回/2月					41 ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月					22 µg/m <sup>3</sup>	50 µg/m <sup>3</sup>

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

# 西部環境センター維持管理記録書(令和2年1月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	3,083
		2号炉	3,077
		3号炉	1,334

データ 項目	測定位置		結果報告 (稼働時常時測定)	測定値 (月平均値)	維持管理 基準値
燃焼ガス温度 <sup>※1</sup> (°C)	燃焼室 出口	1号炉	1月31日	975	800 以上
		2号炉	1月31日	983	
		3号炉	1月31日	1,021	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度 <sup>※1</sup> (°C)	集じん器 入口	1号炉	1月31日	185	概ね 200 以下
		2号炉	1月31日	179	
		3号炉	1月31日	191	
排ガス中の一酸化炭素濃度 <sup>※1</sup> (ppm)	集じん器 出口	1号炉	1月31日	16	100 以下
		2号炉	1月31日	25	
		3号炉	1月31日	11	

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備、排ガス処理設備にたい積したばいじん <sup>※2</sup> の除去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰  
排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値
ダイオキシン類 <sup>※3</sup>	2回/年	煙突 (サンプリング口)	1号炉	/	ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	0.1 ng-TEQ/m <sup>3</sup> N
			2号炉	/	ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	
			3号炉	/	ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	

※3 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度<sup>※4※5</sup>

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	1号炉	/	m <sup>3</sup> N/h	m <sup>3</sup> N/h	
	ppm						
ばいじん	1回/2月				g/m <sup>3</sup> N		0.04 g/m <sup>3</sup> N
塩化水素	1回/2月				mg/m <sup>3</sup> N		200 mg/m <sup>3</sup> N
	ppm				ppm		180 ppm
窒素酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	2号炉	/	ppm	180 ppm	
全水銀	1回/4月				μg/m <sup>3</sup>	50 μg/m <sup>3</sup>	
硫黄酸化物	1回/2月				m <sup>3</sup> N/h	m <sup>3</sup> N/h	
	ppm				ppm	ppm	
ばいじん	1回/2月				g/m <sup>3</sup> N	0.04 g/m <sup>3</sup> N	
塩化水素	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	3号炉	1月7日	mg/m <sup>3</sup> N	200 mg/m <sup>3</sup> N	
	ppm				ppm	ppm	
窒素酸化物	1回/2月				ppm	180 ppm	
全水銀	1回/4月				μg/m <sup>3</sup>	50 μg/m <sup>3</sup>	
硫黄酸化物	1回/2月				0.063 m <sup>3</sup> N/h	38.47 m <sup>3</sup> N/h	
	2.6 ppm	ppm	ppm				
ばいじん	1回/2月	<0.001 g/m <sup>3</sup> N	0.04 g/m <sup>3</sup> N				
塩化水素	1回/2月	4.1 mg/m <sup>3</sup> N	200 mg/m <sup>3</sup> N				
	2.5 ppm	ppm	ppm				
窒素酸化物	1回/2月	89 ppm	180 ppm				
全水銀	1回/4月	μg/m <sup>3</sup>	50 μg/m <sup>3</sup>				

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

# 西部環境センター維持管理記録書(令和2年2月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	1,875
		2号炉	1,871
		3号炉	579

データ 項目	測定位置		結果報告 (稼働時常時測定)	測定値 (月平均値)	維持管理 基準値
燃焼ガス温度 <sup>※1</sup> (°C)	燃焼室 出口	1号炉	2月29日	1,024	800 以上
		2号炉	2月29日	1,008	
		3号炉	2月29日	1,004	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度 <sup>※1</sup> (°C)	集じん器 入口	1号炉	2月29日	188	概ね 200 以下
		2号炉	2月29日	181	
		3号炉	2月29日	180	
排ガス中の一酸化炭素濃度 <sup>※1</sup> (ppm)	集じん器 出口	1号炉	2月29日	14	100 以下
		2号炉	2月29日	22	
		3号炉	2月29日	17	

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん <sup>※2</sup> の除去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰  
排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値
ダイオキシン類 <sup>※3</sup>	2回/年	煙突 (サンプリング口)	1号炉	/	ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	0.1 ng-TEQ/m <sup>3</sup> N
			2号炉	/	ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	
			3号炉	/	ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	

※3 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度<sup>※4※5</sup>

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	1号炉	2月21日	3月17日	0.020 m <sup>3</sup> N/h	36.94 m <sup>3</sup> N/h
	0.8 ppm						
ばいじん	1回/2月					<0.001 g/m <sup>3</sup> N	0.04 g/m <sup>3</sup> N
塩化水素	1回/2月					3.1 mg/m <sup>3</sup> N	200 mg/m <sup>3</sup> N
	1.9 ppm						
窒素酸化物	1回/2月	61 ppm	180 ppm				
全水銀	1回/4月	/	/	/	μg/m <sup>3</sup>	50 μg/m <sup>3</sup>	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	2号炉	2月28日	3月17日	0.055 m <sup>3</sup> N/h	37.43 m <sup>3</sup> N/h
	2.1 ppm						
ばいじん	1回/2月					<0.001 g/m <sup>3</sup> N	0.04 g/m <sup>3</sup> N
塩化水素	1回/2月					2.2 mg/m <sup>3</sup> N	200 mg/m <sup>3</sup> N
	1.3 ppm						
窒素酸化物	1回/2月	47 ppm	180 ppm				
全水銀	1回/4月	/	/	/	μg/m <sup>3</sup>	50 μg/m <sup>3</sup>	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	3号炉	/	/	m <sup>3</sup> N/h	m <sup>3</sup> N/h
	ppm						
ばいじん	1回/2月					g/m <sup>3</sup> N	0.04 g/m <sup>3</sup> N
塩化水素	1回/2月					mg/m <sup>3</sup> N	200 mg/m <sup>3</sup> N
	ppm						
窒素酸化物	1回/2月	ppm	180 ppm				
全水銀	1回/4月	/	/	/	μg/m <sup>3</sup>	50 μg/m <sup>3</sup>	

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

# 西部環境センター維持管理記録書(令和2年3月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	3,056
		2号炉	3,041
		3号炉	3,061

データ 項目	測定位置		結果報告 (稼働時常時測定)	測定値 (月平均値)	維持管理 基準値
燃焼ガス温度 <sup>※1</sup> (°C)	燃焼室 出口	1号炉	3月31日	1,019	800 以上
		2号炉	3月31日	1,004	
		3号炉	3月31日	960	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度 <sup>※1</sup> (°C)	集じん器 入口	1号炉	3月31日	185	概ね 200 以下
		2号炉	3月31日	180	
		3号炉	3月31日	185	
排ガス中の一酸化炭素濃度 <sup>※1</sup> (ppm)	集じん器 出口	1号炉	3月31日	16	100 以下
		2号炉	3月31日	25	
		3号炉	3月31日	16	

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん <sup>※2</sup> の除去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰  
排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値
ダイオキシン類 <sup>※3</sup>	2回/年	煙突 (サンプリング口)	1号炉	/	ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	0.1 ng-TEQ/m <sup>3</sup> N
			2号炉	/	ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	
			3号炉	/	ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	

※3 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度<sup>※4※5</sup>

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	1号炉	/	m <sup>3</sup> N/h	m <sup>3</sup> N/h	
					ppm		
ばいじん	1回/2月				g/m <sup>3</sup> N		0.04 g/m <sup>3</sup> N
塩化水素	1回/2月				mg/m <sup>3</sup> N		200 mg/m <sup>3</sup> N
					ppm		
窒素酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	2号炉	/	ppm	180 ppm	
全水銀	1回/4月				μg/m <sup>3</sup>	50 μg/m <sup>3</sup>	
硫黄酸化物	1回/2月				m <sup>3</sup> N/h	m <sup>3</sup> N/h	
					ppm		
ばいじん	1回/2月				g/m <sup>3</sup> N	0.04 g/m <sup>3</sup> N	
塩化水素	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	3号炉	/	mg/m <sup>3</sup> N	200 mg/m <sup>3</sup> N	
					ppm		
窒素酸化物	1回/2月				ppm	180 ppm	
全水銀	1回/4月				μg/m <sup>3</sup>	50 μg/m <sup>3</sup>	
硫黄酸化物	1回/2月				m <sup>3</sup> N/h	m <sup>3</sup> N/h	
		ppm					
ばいじん	1回/2月	g/m <sup>3</sup> N	0.04 g/m <sup>3</sup> N				
塩化水素	1回/2月	mg/m <sup>3</sup> N	200 mg/m <sup>3</sup> N				
		ppm					
窒素酸化物	1回/2月	ppm	180 ppm				
全水銀	1回/4月	μg/m <sup>3</sup>	50 μg/m <sup>3</sup>				

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。